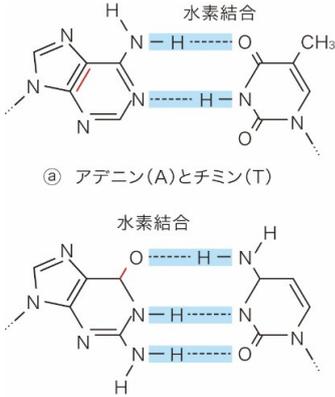
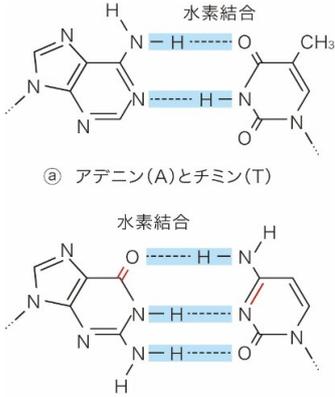


以下の通り表記に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを訂正してお詫び申し上げます。

該当刷ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初版～5刷 p.35	図9-2	<p>【誤】</p>	<p>【正】</p>
初版 p.39	図 10-2 周期表 第6周期 13族	Ti	Tl (チタンではなくタリウム)
初版～2刷 p.44	図13-1		
初版 p.52	下から4行目	炭素C では全体のうち98.9%は <sup>13</sup> C という原子ですが	炭素C では全体のうち98.9%は <sup>12</sup> C という原子ですが
初版～2刷 p.73	図25-1	密度が氷<水のため右 <b>上</b> がり	密度が氷<水のため右 <b>下</b> がり
初版～5刷 p.80	下から5～4行目	0.8Lと0.2Lの体積に分ける仕切りを入れて、窒素を0.8Lの側に寄せて、酸素を0.2Lの側に寄せる	8Lと2Lの体積に分ける仕切りを入れて、窒素を8Lの側に寄せて、酸素を2Lの側に寄せる
初版～5刷 p.87	図30-2 スクロースの構造式		
初版 p.98	下から6行目	図35-1 を見てください	図36-1 を見てください
初版～4刷 p.99	本文 1～2行目	このとき、 <b>B</b> 側の液面が上がらないようにするには <b>B</b> 側の液面に	このとき、 <b>A</b> 側の液面が上がらないようにするには <b>A</b> 側の液面に
初版 p.104	図 38-1 化学反応式	$\text{FeCl}_2 + 3\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{Fe}_3(\text{OH})_3 + 3\text{HCl}$	$\text{FeCl}_3 + 3\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{Fe}(\text{OH})_3 + 3\text{HCl}$
初版 p.125	本文 下から4行目	(図45-2)	(図45-1)
初版～6刷 p.146	表53-1 水溶液のpH	CH <sub>3</sub> OOH	CH <sub>3</sub> COOH
初版 p.172	図62-1	<a href="#">before 172(PDFファイル)</a>	<a href="#">after 172(PDFファイル)</a>
初版～8刷 p.191	図70-2	正極 <b>合成</b>	正極 <b>混合剤</b>

初版～4刷 p.196	図72-1		
初版～8刷 p.198	本文1行目	図74-1	図73-1
初版～8刷 p.234	表85-3 一番下の行	硫化カルシウム 二水合物	硫酸カルシウム 二水合物
初版～8刷 p.250	本文7行目	非常に強い酸化をもつ	非常に強い酸化力をもつ
初版～3刷 p.257	本文1行目	(NH <sub>4</sub> )SO <sub>4</sub>	(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>
初版～8刷 p.257	本文1行目	炭酸塩として	硫酸塩として
初版～8刷 p.258	最終行	必要上がある	必要がある
初版 p.266	下から8行目	その理由は112節で	その理由は113節で
初版～2刷 p.270	図98-2 トランス-2-ブテン		
初版～4刷 p.282	本文 6行目	1-プロピン(HC≡C-CH <sub>2</sub> -CH <sub>3</sub> ) と2-プロピン(H <sub>3</sub> C-C≡C-CH <sub>3</sub> )	1-ブチン(HC≡C-CH <sub>2</sub> -CH <sub>3</sub> ) と2-ブチン(H <sub>3</sub> C-C≡C-CH <sub>3</sub> )
初版～4刷 p.294	表106-1	ジメチルエーテル CH <sub>3</sub> OH <sub>3</sub>	ジメチルエーテル CH <sub>3</sub> OCH <sub>3</sub>
初版～4刷 p.298	3行目	特有の周期を	特有の臭気を
初版～4刷 p.303	図 109-2	分子量 60 44	分子量 60 46
初版～2刷 p.326	図116-3 ベンゼンスルホン酸 の右	+ SO <sub>3</sub> H	+ H <sub>2</sub> O
初版 p.326	こうこう化がくの窓 図		
初版 p.331	8行目	参加すると	酸化すると
初版～8刷 p.334	図119-2	σ-レキシン	σ-キシレン
初版 p.364	6行目	(-OCOCH <sub>3</sub> )	(-COCH <sub>3</sub> )
初版～4刷 p.365	下から2行目	1937年になって	1935年になって

初版 p.368	図 129-3	 <p>水素結合</p> <p>① アデニン(A)とチミン(T)</p>	 <p>水素結合</p> <p>① アデニン(A)とチミン(T)</p>
初版 p.377	本文 3行目	プリント配線用	プリント配線用
初版 p.378	表133-1 尿素樹脂 合成の反応式	$\begin{array}{ccccccc} -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2- & & & & & & \\   &   &   &   &   &   & \\ \text{CO} & \text{CH}_2 & \text{CH}_2- & & & & \\   &   &   & & & & \\ -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{CH}_2- & & & & & & \end{array}$	$\begin{array}{ccccccc} -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2- & & & & & & \\   &   &   &   &   &   & \\ \text{CO} & \text{CH}_2 & \text{CH}_2- & & & & \\   &   &   & & & & \\ -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{CH}_2- & & & & & & \end{array}$
2刷～6刷 p.378	〃	$\begin{array}{ccccccc} -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2- & & & & & & \\   &   &   &   &   &   & \\ \text{CO} & \text{CH}_2 & \text{CH}_2 & & & & \\   &   &   & & & & \\ -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{CH}_2- & & & & & & \end{array}$	$\begin{array}{ccccccc} -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{NH}-\text{CH}_2- & & & & & & \\   &   &   &   &   &   & \\ \text{CO} & \text{CH}_2 & \text{CH}_2- & & & & \\   &   &   & & & & \\ -\text{CH}_2-\text{N}-\text{CH}_2-\text{N}-\text{CO}-\text{N}-\text{CH}_2- & & & & & & \end{array}$
初版 p.384	図135-3	